

### 『ふるさと山口』を応援しましょう！



今年は、明治維新 150 年の年です。山口県内各地で色々な行事が執り行われるようですが、山口市が一番力を入れているのが、9 月から山口きらら博記念公園で行われる「山口ゆめ花博」です。

「ふるさと応援」として、是非この「山口ゆめ花博」に参加しようではありませんか。私も 10 月には同級会もあって帰省して「山口ゆめ花博」の「1000 万の花」を楽しむつもりです。みなさんもお家族とご一緒に、お友達やお仲間と誘い合って、いかがでしょうか。そして、もう一歩足を延ばして、萩市の世界遺産を訪問されては如何でしょうか。

さて、山口七夕会はいよいよ来年に設立20周年を迎えます。平成も最後の年となりますし、気持ちを新たに、今ひとたび、初心、原点に立ち帰って、東京と山口を両軸として、会員相互の親睦を図り、山口市と連携して郷土山口市の発展に貢献できる活動を展開して参りたいと考えています。

会員のみなさまの応援と協力をよろしくお願いします。

平成 30 年 9 月

山口七夕会  
会長

\*\*\*\*\*

#### ＝目次＝

◇八木会長/挨拶-----	1
◇祝辞	
山口市長 渡辺純忠-----	2
山口市議会議長 坂井芳浩-----	3
◇平成30年度定時会員総会(報告)-----	4・5
◇平成29年度活動の記録-----	6・7
◇★フェイスブック版「山口市ファンクラブ」を ご活用ください★-----	8・9
◇【山口本部】「第2回 酎-Takenawa-祭」(報告)-----	10
◇【東京本部】「春の講演・交流会」(報告)-----	11
◇大人の社会科見学「防衛省見聞録」-----	12・13

#### ＝会員寄稿＝

○「私と山口」/河合正克-----	14・15
○「山口本部 夏の講演・交流会に参加して」/小谷典子 -----	16・17
○「お花見と下町ウォーク会に参加して」/山根和也---	18
○「～いつでもどこでも誰にでも ふるさとはあなたの心の 中に～」/小野美穂子-----	19
○「ゴルフ同好会」活動報告/藤井謙志-----	20

#### 【編集後記】

明治維新150年の今、歴史に学び、次の150年につながる時を大切に生きて行きたいですね。

編集委員長(副会長) 武内衛子

## 祝 辞



山口市長

渡辺純忠

山口七夕会の会報第5号の発行につきまして、心からお祝いを申し上げます。

八木会長をはじめ、会員の皆様方におかれましては、平素から、本市発展のため、御尽力いただいておりますことに対しまして、心から感謝を申し上げます。

特に、アクティブシニアの本市への移住定住を促進する「生涯活躍のまち（日本版C C R C）構想」の推進につきまして、首都圏と本市の連携強化に向けて情報発信やネットワークづくりなど、多くのお力添えを賜っておりますことに対しまして、厚くお礼を申し上げます。

さて、本市では、今年4月から、今後10年の本市のまちづくりの指針となります「第二次山口市総合計画」によるまちづくりがスタートいたしました。この新たな総合計画では、その目指す将来都市像を「豊かな暮らし 交流と創造のまち 山口 ～これが私のふるさとだ～」とし、人口減少に必ずや歯止めをかけ、高齢社会が進展する中であっても、豊かで安心して暮らせるまちづくりを全力で進めることといたしております。

この将来都市像を実現するため、本市では都市政策の一つとして「広域県央中核都市づくり」を進めてまいります。山口都市核では、亀山公園山頂広場の整備や市内初となる黄金町地区法定再開発事業への支援等、小郡都市核では、新山口駅南口駅前広場の整備をはじめ、新山口駅北地区拠点施設整備のビッグプロジェクトなどに取り組んでおります。

また、本年は、明治改元から150年となる記念の年でございます。本市といたしましても、「明治維新策源地」として、本年を本市の魅力を生かして市内外に発信するシティセールスの絶好の機会と捉え、明治維新150年関連の様々な取組を展開しております。

9月29日には、幕末に維新の志士たちが集ったとされる十朋亭とその周辺施設を一体的に整備した、幕末維新を楽しみながら学べる施設「十朋亭維新館」をオープンいたします。

そして、明治150年の中核イベントである国内最大級の花と緑の祭典「山口ゆめ花博」が9月14日から、いよいよ開幕となります。会場では、1千万の山口の花が咲き誇る圧倒的な大花壇をはじめ、湯田温泉のお湯を使った足湯施設を設置するなど、幅広い年代の皆様楽しんでいただけるような様々なプログラムを用意いたしており、皆様の心にいつまでも残る花博となるよう、成功に向けて大いに盛り上げてまいりますので、ぜひお越しください。

山口七夕会の皆様におかれましては、ふるさと山口の力強い応援団として、引き続き、本市の目指すまちづくりに向け、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、山口七夕会の今後益々の御発展と、会員の皆様の御健勝と御多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 祝 辞



山口市議会議長  
坂井芳浩

この度、山口七夕会の会報第5号が発行されることにつきまして、心からお祝いを申し上げます。

八木会長様をはじめ、会員の皆様が、ふるさと山口を愛し、貴会の活動をとおして相互の交流を図られながら、本市の発展に、多大なるお力添えをいただいておりますことに、深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。本年5月に、新市誕生後の山口市議会第9代目の議長を拝命いたしました私としても8月に東京で行われました定時総会に参加をさせていただきまして、皆様の熱気を感じたところでございます。

さて、前回の国勢調査におきましては、本市の人口は増加に転じており、これまでのまちづくりは着実にその実を結んでいるところでございます。しかしながら、これから本格的な少子高齢化や人口減少に直面することとなる中、山積する課題に対応し、まちづくりの質を高め、市民の皆様が誇りを持てる豊かな暮らしを実現し、持続可能な市勢の発展を成し遂げていく必要があります。

こうしたことから、今後10年のまちづくりの方向性を位置付ける第二次山口市総合計画の初年度であります平成30年度におきましては、新たな総合計画の「スタートダッシュ元年」にふさわしく、「住んで良かった これからも住み続けたい山口市」と心から思える定住実現のまちづくりに向けてさまざまな取り組みが進められております。

とりわけ、全国的にも急速に進行する少子化の問題、子育て環境、教育環境の多様化に起因する様々な諸問題につきましては、行政だけではなく、市議会におきましても、市民の皆様さんと一体的に取り組むことによって解決していきたいとの思いから、昨年12月定例会におきまして、議員自らが提案する政策条例として、「山口市子ども・子育て条例」を制定し、本年4月からの施行といたしたところでございます。

この条例の前文にも掲げておりますが、全ての子どもが主体的な一人の人間として生きるためには、一人ひとりが創造性や自尊心を磨き、ふるさとへの愛着をもって成長することが大切でございます。そして、次代を担う子どもたちが結婚、出産、子育てに希望を持ち、安心して生み育てていくことのできる山口市であり続けなければなりません。

山口七夕会におかれましては、設立二十周年を目前に控えられ、「今ひとたび、原点、初心にたちかえって」として、東京と山口を両軸とした更なる交流促進を目指しておられるところでございます。市議会といたしましても、山口七夕会会員の皆様の多彩な人脈を生かした活発かつ戦略的なお取り組みが、本市在住の市民をはじめ、本市に縁（ゆかり）を持つ方々の、本市への郷土愛を育み、多くの市民の豊かな暮らしへとつながっていくよう、鋭意努力をいたしてまいる所存でございますので、より一層の御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

終わりに、山口七夕会の今後益々の御発展と会員の皆様のなお一層の御多幸、御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

## 平成 30 年度定時会員総会（報告）

幹事長 山縣 正彦

平成 30 年 8 月 4 日(土)17 時から定時会員総会を品川の日立金属高輪和彊館で開催しました。今年、明治維新 150 年の年ですので、長州藩毛利家ゆかりの地での開催となりました。

石田副会長の司会で開会し、八木会長のあいさつに続き、来賓の渡辺市長様からご挨拶と市政報告(山口市のまちづくり)を、坂井市議会議長様からご挨拶をいただきました。

続いて、相山東京本部長が、東京圏ネットワーク構築事業(山口市委託事業)の進捗状況について報告しました。

引き続き、会則に則り、八木会長を議長に選出して定時会員総会の議事に入り、以下の全ての議案が承認されました。

### ○議 事

議案第1号 平成 29 年度事業報告

議案第2号 平成 29 年度収支決算及び監査報告

議案第3号 東京本部及び山口本部の名称変更

**※東京本部→東京圏ネットワーク本部**

**※山口本部→ふるさと山口本部**

議案第4号 平成 30 年度事業計画(案)

議案第5号 平成 30 年度予算(案)

議案第6号 副会長及び顧問の指名並びに監事及び幹事の選任(案)

**※副会長:特命事項担当(花博など)を増員して、渡邊幹事が副会長に就任しました。**

**※顧問:野原弘幸氏(山口県東京事務所長)が異動による交代で就任しました。**

**※監事:大枝幹夫東京本部監事が就任しました。**

**※幹事:山仲秀子幹事が退任して、新たに藤井謙志氏(周南市出身、元・富士ゼロックス山口社長)が就任しました。**

総会の議事後、山口県東京事務所の野原所長からご挨拶と山口県の平成 30 年度の事業や明治 150 年事業などについてお話いただきました。



【石田副会長】



【八木会長】



【渡辺市長】



【坂井議長】



【相山東京本部長】



【山下山口本部事務局長補佐】



【野原山口県東京事務所長】



【総会会場】

## 平成 30 年度定時会員総会（報告）

幹事長 山縣 正彦

平成 30 年 8 月 4 日(土)17 時から定時会員総会を品川の日立金属高輪和彊館で開催しました。今年、明治維新 150 年の年ですので、長州藩毛利家ゆかりの地での開催となりました。

石田副会長の司会で開会し、八木会長のあいさつに続き、来賓の渡辺市長様からご挨拶と市政報告(山口市のまちづくり)を、坂井市議会議長様からご挨拶をいただきました。

続いて、相山東京本部長が、東京圏ネットワーク構築事業(山口市委託事業)の進捗状況について報告しました。

引き続き、会則に則り、八木会長を議長に選出して定時会員総会の議事に入り、以下の全ての議案が承認されました。

### ○議 事

議案第1号 平成 29 年度事業報告

議案第2号 平成 29 年度収支決算及び監査報告

議案第3号 東京本部及び山口本部の名称変更

**※東京本部→東京圏ネットワーク本部**

**※山口本部→ふるさと山口本部**

議案第4号 平成 30 年度事業計画(案)

議案第5号 平成 30 年度予算(案)

議案第6号 副会長及び顧問の指名並びに監事及び幹事の選任(案)

**※副会長:特命事項担当(花博など)を増員して、渡邊幹事が副会長に就任しました。**

**※顧問:野原弘幸氏(山口県東京事務所長)が異動による交代で就任しました。**

**※監事:大枝幹夫東京本部監事が就任しました。**

**※幹事:山仲秀子幹事が退任して、新たに藤井謙志氏(周南市出身、元・富士ゼロックス山口社長)が就任しました。**

総会の議事後、山口県東京事務所の野原所長からご挨拶と山口県の平成 30 年度の事業や明治 150 年事業などについてお話いただきました。



【石田副会長】



【八木会長】



【渡辺市長】



【坂井議長】



【相山東京本部長】



【山下山口本部事務局長補佐】



【野原山口県東京事務所長】



【総会会場】

総会に続いて、柏木 享 先生(やまぐち発酵文化研究所 代表)に、『こうして・・・地酒は元気になった！』と題して講演いただきました。近年、世界的にも評価を高めている山口の地酒、その低迷の歴史から酒質レベルアップの取り組みを米づくりからはじめ、酵母の分離・開発、酒造り先進県の静岡県や秋田県から酒造技術を導入した取り組みの内容などを講演いただきました。



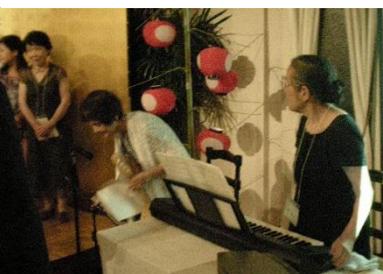
【柏木講師の講演】

懇親会は、七夕合唱団のリードによる「埴生の宿」、「ふるさとの風～山口市民の歌～」の全員合唱に続いて、伊藤副市長の挨拶と乾杯の音頭でスタートしました。

しばし歓談の後、新会員の紹介、史上最年少参加者(一歳の由君)と一緒に参加の伊藤晋会員夫妻のスピーチ、同窓会「かなめ会」の活動報告、渡辺市長同期のみなさんの紹介など和気あいあいの中で進みました。



【七夕合唱団のみなさんと全員合唱】



【伊藤副市長】



【伊藤会員ファミリー】



【新会員のみなさん】



【かなめ会のみなさん】



【渡辺市長と同期(山高 69 期)のみなさん】



【じゃんけん大会・相手は神足主幹】



恒例のじゃんけん大会は、経済産業部ふるさと産業振興課の神足主幹を相手に、明治 150 年にちなんだ日本酒「薩長同盟」、レノファ T シャツなどの豊富な賞品を争って熱戦を繰り広げました。

締めは、渡邊副会長の指揮で、「山口県民の歌」、「ふるさとの風～山口市民の歌～」を作曲された新会員のちひろさん(シンガーソングライター)も加わって全員で合唱し、武内副会長の三本締めでお開きとなりました。



【渡邊副会長】



【ちひろさんと全員合唱】



【武内副会長】

平成 29 年度 山口七夕会の一年＝活動の記録

【本部七夕会・東京本部】

◆平成 29 年 4 月 22 日(土)幹事会

【議事】

1. 平成 29 年度定時総会の日程について
2. 平成 29 年度定時総会の準備について

◆平成 29 年 7 月 22 日(土)幹事会

【議事】

H29 年度定時総会兼東京本部総会議事について

◆平成 29 年 7 月 29 日(土)定時会員総会

東海大学校友会館にて開催(69 名参加)

○総会

○講演:「長州藩の教育思想と明治維新」

講師/牛見真博氏(大島商船高等専門学校専任講師、博士(学術))

○懇親会



◆平成 29 年 11 月 11 日(土)第 27 回交流会

「別邸福の花浜松町店」にて開催(41 名参加)

○講演会:「意外な世界石油事情と今後の動向」

講師/高木俊彦氏

(前・三井物産エネルギー第一本部)

○懇親会



◆平成 30 年 1 月 20 日(土)幹事会兼東京本部役員会

「花・味兆」にて開催(16 名参加)

1. 活動報告 2. 活動計画 3. 議 事

1. 会費滞納者の取り扱い変更及び年度後半の入会に伴う入会手続きと会費処理＝承認。

2. 会計中間決算(12 月 31 日現在)＝承認。

3. 「2020 ビジョン」、「チャレンジプラン 2015 to 2020」の進捗状況、今後の取り組み＝意見交換＝

4. 東京圏ネットワーク協議会について＝意見交換＝

5. IT 化の検討＝意見交換＝

(1)七夕会と IT 活用 (2)ぶち World の今後  
※意見交換の結果、以下のことを確認した。

＝平成 30 年 1 月 20 日幹事会のまとめ＝

1. 組織の再編と強化を検討

(1)副会長の増員

(2)事業本部制の見直し

2. 役員の仕事分担とサポート体制の構築を検討

3. 外部委託やベンチャー企業との連携を検討

4. 夏の総会に向けて仕上げの三ヶ年計画を検討

◆平成 30 年 3 月 10 日(土)第 28 回交流会

「別邸福の花浜松町店」にて開催(42 名参加)

○講演会:

「金融のこぼれ話」

講師/秋草史幸氏

(三菱UFJ証券ホールディングス特別顧問)

○懇親会



＝P11＝【東京本部】「春の講演・交流会」(報告)に掲載。

【★協力事業・各種活動等】

◆平成 29 年 6 月 3 日(土)レノファ山口応援観戦  
ニッパツ三ツ沢競技場での横浜 FC 戦を応援(このほか東京圏での対戦を応援)

★平成 29 年 8 月 5 日(土)豊洲ふれあい納涼祭  
山口市ふるさと創生部と山口銀行豊洲支店のイベント出展に協力して山口市の特産品をPR。

★平成 29 年 10 月 14 日(土)～15 日(日)

三茶でやまぐち食べちゃろ祭り

山口県東京営業本部のイベントで山口市の特産品をPR。山口市経済産業部に協力。

◆平成 29 年 12 月 1 日(金)～12 月 5 日(火)

オトナの修学旅行 in シンガポール 5 日間

山口市役所から派遣の自治体国際化協会シンガポール事務所、所長補佐の古谷さんやシンガポール山口県人会のみなさんと交流した。

◆平成 30 年 3 月 27 日(火)

大人の社会科見学「防衛省」

(22 名参加、懇親会＝20 名参加)

◆平成 30 年 2 月 9 日(金)ふるさと山口交流会

・山口大学、山口商工会議所、山口県立大学を訪問し懇談。

・渡辺市長を訪問し懇談。

・山口市物産事業者連絡協議会役員との懇談会

【参加者】八木会長、山縣幹事長、仙田幹事、

入江副本部長、関/楽農部会長

◆平成 30 年 3 月 31 日(土)

お花見ウォーク&懇親会(12 名参加)

・懇親会は「鳥光國上野駅前店」にて開催した。

【後援】

◆平成 29 年 11 月 5 日(日)

山口蘭子ふるさとコンサート

○場所:山口県婦人教育会館カリエンテ山口

山口蘭子会員の「ふるさとコンサート～山口の空の下シャンソンは流れる～」に後援名義を付与して応援した。

【山口本部】

◆平成 29 年 4 月 1 日(土)第1回役員会

「ポルシェセンター」にて開催

(参加者:7名、出演者4名)

○決定事項:山口七夕会山口本部イベント「第4回音楽祭 輪-Rin-」について

◆平成 29 年 5 月 27 日(土)

「第4回音楽祭 輪-Rin-」

ポルシェセンター山口にて開催(参加者:78名)

○様々なジャンルの音楽を食事とともに楽しむ交流会

◆平成 29 年 7 月 15 日(土)第2回役員会

「西の雅 常盤」にて開催(参加者:8名)

内 容:

1 会計監査の実施について 2 山口本部総会打ち合わせについて 3 秋の講演・交流会について 4 その他

◆平成 29 年 8 月 13 日(日)山口本部総会

西の雅「常盤」にて開催(参加者:48名)

○講演会/講演:「こだますいのち」

講師:末永 和之 先生

(すえなが内科在宅診療所 院長)

=山口七夕会通信 Vol.29=P5=平成 29 年度山口七夕

会山口本部定時総会【山口】に掲載。

◆平成 29 年 11 月 19 日(土)第3回役員会

「西の雅 常盤」にて開催(参加者:11名)

内 容:

1 秋の講演・交流会打ち合わせ

2 酎祭りについて

◆平成 29 年 11 月 25 日(土)秋の講演・交流会

西の雅「常盤」にて開催(参加者:47名)

○講演会/講演:「勤王の女流歌人 野村望東尼の生涯」

講師:松前 了嗣 先生

(NPO 法人防長史楽会理事長)

=山口七夕会通信 Vol.30=P4=平成 29 年度山口七夕

会山口本部秋の「講演・交流会」【山口】に掲載。

◆平成 30 年 1 月 6 日(土)第4回役員会

「防長苑」にて開催(参加者 11名)

内 容:第2回酎-Takenawa-祭について

◆平成 30 年 3 月 10 日(土)

第2回「酎-Takenawa-祭」

防長苑にて開催(参加者:79名)

○講演会/講演:「やまぐちの酒・雑学」

講師:柏木 享先生(やまぐち発酵文化研究所/代表)

○総 会 ○懇親会

=P10=【山口本部】「第2回酎-Takenawa-祭」(報告)

◆平成 30 年 3 月 31 日(土)第5回役員会

「西の雅 常盤」にて開催(参加者 9名)

内 容:

1 平成29年度 酎-Takenawa-祭について

2 平成30年度事業計画について

(1) 講演・交流会 (2) 酎-Takenawa-祭

(3) 音楽祭-Rin-

◆楽農部会平成 29 年 5 月~10 月

① 田植えとバーベキュー<5月14日>

②草取りとバーベキュー、ベトナム大学留学生2名

との交流<平成29年6月25日(日)>

③稲刈り<平成29年10月>

◆冬の徳佐を楽しむ会(楽農部会収穫祭)

=地域との交流会(阿東徳佐地区)

<主催> 山口七夕会山口本部楽農部会

<協賛> 村重酒造(株) アグリアートジャパン

<協力> 徳佐地区の婦人有志、阿東黒松応援団

○講演:深野宗泉氏(洞春寺住職 戊年ですから『マル住職』と犬のお話)

○卓話:①青木克己氏(歯科医師/ダチョウの研究者のダチョウのお話)②村重雅崇氏(村重酒造社長の日本酒のお話)③申神正子氏(日赤山口病院産婦人科部長の冬の健康管理のお話)

○紙芝居:山口紙芝居の会 中村晃子氏とドリームワークス

=懇親会・収穫祭=会食・阿東特産シシ鍋・各種猪料理・シシ飯・村重酒造の絶品の新酒

○音楽演奏:山下りえこ氏の二弧演奏/Qzo 氏のギター ピアノ演奏

○お楽しみ抽選会:徳佐の田楽米・味で勝負の徳佐片山米、村重酒造の銘酒等

★フェイスブック版「山口市ファンクラブ」をご活用ください★

東京圏ネットワーク本部長 梶山 俊哉

ふるさと山口市から遠く離れて暮らす山口市ゆかりの皆さんに、身近なところで山口市を感じていただくため、フェイスブックにグループ「山口市ファンクラブ」を立ち上げました。山口七夕会が山口市役所より業務委託を受けている、東京圏でのネットワーク構築事業の一環です。まずはそのサイト（ホームページ画面）に掲載した、創立者メッセージをご一読ください。

「これが私の故郷（ふるさと）だ さやかに風も吹いている」（中原中也作「帰郷」より）  
「ほととぎす あすはあの山越えてゆかう」（種田山頭火作）

山口市から離れていても、ふと山口市を思い出す瞬間ってありませんか。この「山口市ファンクラブ」は、山口市にゆかりのある方、山口市に愛着を持つ方の輪を広げながら、メンバー相互の絆や山口市との絆を深めていければと立ち上げました。

山口市にゆかりのある方（出身地、出身校、勤務地等々）で、山口市を愛し、応援して下さる方であればどなたでも参加できます。

**（観光で訪問された方も、大歓迎です!）**

なお、グループに参加する際にはメンバー申請を行い、承認されたのちに自己紹介を兼ねて、簡単に山口市とのつながりをアップ・公開していただけると嬉しいです。

いつでもどこでも誰であっても、このクラブを活用し、ふるさと山口市、自分の中の山口市への思いを共有できれば幸いです。

※投稿いただく内容、情報交換については、山口市とつながりがあるもの、かつ、当面は東京圏に関係のある情報（例えば東京圏での山口市関連イベントや東京圏にある山口ゆかりの場所等）を優先してください。

また、メンバーの交流が促進されるような投稿をお願いいたします。主旨にそぐわない内容のものは削除させていただきますのでご了承ください。

※山口市の愛郷会「山口七夕会」のHP <http://www.yamaguchi-tanabatakai.org/>

※山口市関連情報サイト「ぶち World」 <http://y-buchi.yamaguchi-tanabatakai.org/>

※山口市の情報満載サイト「ぶち山口市」 <http://buchi-yama.jp/>

もご参照ください。

<問い合わせ先>

山口市ファンクラブ設立準備委員会代表

兼 山口七夕会（※）東京圏ネットワーク本部長 梶山 俊哉：[totosugi@pa2.so-net.ne.jp](mailto:totosugi@pa2.so-net.ne.jp)

（※）山口七夕会は山口市（担当：山口市総合政策部）より業務委託を受け東京圏でのネットワーク構築事業（東京圏における山口市ファンの拡大等）のための活動をしています。

なお、入手した個人情報は適切に管理し、本事業以外の目的での利用は一切いたしません。

今はまだ、東京圏で開催されるイベントや、東京圏に固有の山口市ゆかりの情報の共有が中心ですが、徐々に山口市でのイベント情報なども掲載しています。

また、行く行くは、東京圏のみならず、全国各地にいらっしゃる山口市ゆかりの皆さんに、その地その地の山口市関連の情報を掲載していただき、その地に住む山口市ゆかりの方々との共有ができるようなサイトにできればと考えています。

まずは皆さんも、フェイスブックにアクセスのうえ、グループ「山口市ファンクラブ」を検索し、メンバー（※）になりませんか？

（※）メンバーにならなくてもサイトの閲覧は自由にできますが、是非ともメンバーになって、情報の提供（記事の掲載）をしていただければ幸いです。

【山口市ファンクラブの閲覧方法、メンバー申請方法】



【最近の掲載画面より】



## 山口本部イベント 「第2回 酎—Takenawa—祭」 (報告)

- 日時:平成30年3月10日(土)18時より
- 場所:防長苑(山口市熊野町4-29)
- 講師:柏木享氏  
(やまぐち発酵文化研究所 代表)
- 演題:「こうして・・・地酒は元気になった！」

昨年大好評でありました、山口の酒を愛する会「酎-Takenawa-祭」。

今年は平成30年3月10日に第2回を挙行政たしました。

今年も山口の酒の第一人者である柏木享先生をお招きして「ぶち元気な山口県産の日本酒！なぜ県産酒はこんなにうまくなったのか？」という演題で、熱気あふれる柏木節を拝聴いたしました。



毎年、先生のご経験からの厳選の5銘柄をテーブルに並べ、【瀬川本部長挨拶】(今年は雁木、原田、わかむすめ、八千代、貴の5銘柄！)山田錦の復活生産、山口大学との共同研究開発からレベルアップしてきたのだとお話いただきました。

ご講演の後には、これまた昨年大好評でありました「防長苑」和食料理長の後藤智数氏プロデュースの「志士膳」。これは、山口県産の素材を盛り込んで、山口を代表する郷土料理を4×4の16種類(ししじゅうろく！)のお膳に仕立てた山口七夕会山口本部特別のお膳です。これをアテに杯は進むのでした。



ふるさと山口本部 副本部長 申神正子(会員No.477)

宴たけなわとなり、そこからは待ちに待ったじゃんけん大会です。80名あまりの参加者全員でじゃんけんに集中していました。



会の終盤には、会員三味線一燈さんによる「津軽じょんがら節」の三味線演奏がホールに鳴り響き、山口県産の美味しい酒と美味しいアテ、そして山口を代表する三味線奏者の演奏と、お集まりの皆様の笑顔で満たされて会は無事終了いたしました。お帰り際には、「また次回も楽しみにしています！」のお声をたくさんいただきました。次回開催にむけて気合が入りました！



## 平成30年度山口七夕会東京本部「春の講演・交流会」（報告）

平成30年3月10日(土)午前11時から、平成30年度山口七夕会東京本部「春の講演・交流会」を「やまぐち山海の恵み別邸福の花浜松町店」において開催しました。



梶山東京本部長の司会進行で始まり、八木会長より、2月に山口市を訪れた折の山口市物産協議者連絡協議会役員会や山口大学、山口県立大学、山口商工会議所の方々との交流、渡辺市長との懇談の報告があり、さらに山口市と山口県が今年特に力を入れている「維新150年」にあたり、9月から開催される「山口ゆめ花博」の紹介があり、期間中、会員の皆様も是非訪れていただきたいとお話がありました。



引き続き、「金融にまつわるこぼれ話」と題し、秋草史幸氏(三菱UFJ証券HD特別顧問、東京大学卒、山口高校74期)からお話を頂きました。経済の要は金融であるから始まり、金融はお金が滞りなく動くこと、銀行業務の図式を使った説明、金融業の歴史においては、外国ではベニスの商人、日本では江戸時代商業の中心は上方と将軍のおひざ元江戸との商取引の発達、銀行の名称の成り立ち等、そして近代金融業の発展からは、金融機関の倒産、リーマンショック、フィンテック、ビットコインとブロックチェーンとわかり易い言葉で、ユーモアを交えそれぞれの解説をして頂きました。



引き続き、「金融にまつわるこぼれ話」と題し、秋草史幸氏(三菱UFJ証券HD特別顧問、東京大学卒、山口高校74期)からお話を頂きました。経済の要は金融であるから始まり、金融はお金が滞りなく動くこと、銀行業務の図式を使った説明、金融業の歴史においては、外国ではベニスの商人、日本では江戸時代商業の中心は上方と将軍のおひざ元江戸との商取引の発達、銀行の名称の成り立ち等、そして近代金融業の発展からは、金融機関の倒産、リーマンショック、フィンテック、ビットコインとブロックチェーンとわかり易い言葉で、ユーモアを交えそれぞれの解説をして頂きました。

幹事 本多 圭子(会員No.655)

興味深い講演の後、質疑では、最近の世の中で疑問視されているビットコイン等目に見えない形の金融についての質問が寄せられました。

講演会に続き、関係団体である山口県東京営業本部(現・山口県東京事務所)永田副本部長より、山口県の来年度予算の財政対策などの説明と現状をお話し頂き、山縣幹事長からは、春の行事として大人の社会見学会「防衛省」お花見ウォークについて説明がありました。



その後、石田副会長の乾杯音頭により、懇親会がスタートしました。

やまぐちの山海の懐かしい品を食しながら、和気あいあいのうちに、会員の皆様との懇親が行われ、幹事の渡邊さんの指揮で「山口県民のうた」を全員で歌い、武内副会長の締めで大盛況のうちにお開きとなりました。



## 大人の社会科見学「防衛省」見聞録

幹事 奥原 保(会員No.330)

平成 30 年 3 月 27 日(火)、防衛省・宮木さんのご紹介により、山口七夕会関係者約 20 名で、市ヶ谷の防衛省を見学させていただきました。以前から正門の前を通るたびに、内部はどのようになっているのだろうかと興味津々で、やっと念願叶うことが出来ました。



例年より早い満開の桜の中、さすが国を守る防衛省だけに厳しいチェックを受け、足を踏み入れました。正門から儀仗広場に向かう途中、道路も整備され、お花見をしながらタウンの中を歩いているような気分でした。儀仗広場は様々な式典が行われる場所で、ここから A・B・C・D・E・F の庁舎各棟がほぼ一望に見渡されました。



**(庁舎 A 棟)** 都内最大規模のヘリポートを持つ、官公庁最大規模の庁舎。防衛の中核であり、大臣をはじめ内部部局、統合幕僚監部、陸・海・空各幕僚監部等の防衛の中核機関が使用しています。

**(庁舎 B 棟)** 陸・海・空各自衛隊の通信関係部隊が使用し、通信局舎として機能しています。

**(庁舎 C 棟)** 情報本部などの情報関係機関・部隊が使用しています。

**(庁舎 D 棟)** 防衛装備庁、防衛監察本部等の機関が使用しており、企業関係者、地方自治隊関係者と多くの業務を行っています。また市ヶ谷地区全体の防災管理を行う施設が設置されています。

**(庁舎 E 棟)** 市ヶ谷地区の各機関の業務を支援する陸・海・空各自衛隊の業務隊が使用しているほか、各種プロジェクトチームの執務室用のスペースが設けられています。

**(庁舎 F 棟)** 安全保障及び戦史等に関する政策指向の調査研究を行っている防衛研究所が使用しています。また、防衛研究所戦史研究センター資料閲覧室において、所蔵している旧陸・海軍史料を閲覧することができます。

以上各庁舎棟のご説明をいただいたあと、市ヶ谷記念館へと向かいました。同記念館は庁舎 A 棟の建設地にあった「1 号館」を歴史的建築物として移築・復元したものです。昭和 21 年からの極東国際軍事裁判の法廷として使用されました。我々見学者が座って説明を聞いたエリアが判事の席、その向かい側が被告席、正面のひな壇が GHQ 席、後方の 2 階席が傍聴席でした。厳粛な部屋に佇んでいると、当時の緊迫した裁判風景が甦ってくるようでした。

その後、旧陸軍大臣室、陛下の休憩所(旧便殿の場)を案内され、最後に三島由紀夫が占拠した部屋とバルコニーに足を運びました。当時、私は大学 4 年生で、生協で本を立ち読みしていたところ、突然テレビに三島由紀夫の姿が映りました。最初劇場中継でもしているのかと目を疑いましたが、現実であるということを知り、びっくりしたことが思い出されました。部屋の柱には生々しい刃の傷跡が残っておりました。



2時間少々の見学後、厚生棟に案内され、レストラン・コンビニ・土産店などの場所で一息ついたあと、正門に向かい解散しました。



夕方、市ヶ谷駅近くの居酒屋で宮木さんにも同席していただき懇親を深め、ほろ酔い加減での帰宅途中、夜空の満天の星、夜桜を見ながらいろいろな感慨に耽りました。

本来、人類はみな平等で、平和を願いながら生活しています。一方多くの大国、近隣諸国がナショナリズムへと向かっているのが現実です。各国が多くの軍事費を増加し、防衛力を強化していますが、重要なことは、弦楽器の弦の張りがきつ過ぎても緩すぎても良い音が出ないように、どの国もちょうどよい弦の張りを保つことが肝心ではないでしょうか。

地球の歴史が40数億年、人間の細胞は30兆個を超えるといわれています。夜空を見上げると無数の星がきらめいており、数億光年で我々の目に届いている・・・このような途方もない無限大の中に我々人類は生かされております。日本の防衛に携わっていただいている多くの方達に感謝しつつ、子々孫々永遠に平和な時代が続くことを願いながら帰宅の途に就きました。



## 「私と山口」

河合 正克(会員No.294)

150 年前に起こった明治維新を顧みてみて、これまで気が付かなかった山口のパワー(運氣)を発見して、納得したので紹介したい。筆者は豎小路で生を受けて、大内塗漆器業を生業とする祖父母に育てられた。成人するまで、山紫水明に恵まれたこの地で遊び、かつ学んだ。戦災を免れた旧市街の神社仏閣等の遺構については、我が家の庭のように熟知しているつもりである。山口が明治維新の策源地とよばれるのは何故なのか、故郷を遠く離れた千葉にて、改めて見なおす機会を戴いた。

もともと、山口県は本州の西端に位置し、京の都から遠く、旧山口市街は中国山地の盆地に過ぎない。古墳時代から現代にいたるまでこの地を拠点として営んできた先人の歴史を見ると、パワーの根源が理解できるのではないか。

日本海、響灘そして瀬戸内海と 3 面を海に囲まれ西国は、地政学の見地から、中国大陸、朝鮮半島そして日本国の位置関係にあり、時代の流れが、防長藩に潜在力をつける要素となったことは間違いない。

奈良時代に完成した東大寺の大仏が平氏により焼失した。これを再建するため、重源上人が良材を求めて佐波川上流にやってきたのだ。周防の国の血と汗が東大寺の再建に寄与している。

大内村の豪族である大内弘世が 1358 年(正平15/文和4)防長両国の守護職に任じられて、本拠地である大内館を大内御堀から大殿地区へ移転した。この時、弘世は陰陽師を京から招いて風水による町づくりをしたのである。南北朝時代・室町時代には京都よりも栄えた「西の京」であった。大内時代には世界文化遺産になった石見銀山を発見し、地の利を生かした明との貿易、三白産業、神社仏閣の勧請等 200 年栄華を続けた。しかし、大内氏一族で最も絢爛たる文化を築き上げた大内義隆は、生者必滅、1551 年(天文20)大内氏は滅亡する。戦火で荒廃した山口市街を毛利元就が継承するが、孫の輝元の時、関ヶ原の戦いで西軍の

総大将として敗者となり、七州の太守をはく奪され、山陰の萩に閉塞される。山口は再びさびれて寒村になり、萩往還の通過点として 250 年の沈黙を過ごした。

1864 年(文久3)毛利敬親が萩から山口へ移鎮する。大内時代の風水を基礎にした町づくりを参考にして、毛利氏の町づくりをした。天の時、地の利、人の和が結実し、ご存知の明治維新に突入した。パワースポット(運氣)が充満している町、策源地といわれる所以である。防長に数多くの遺構が存在している。

おすすめは、氷上興隆寺、乗福寺、月輪寺、禅昌寺、今八幡宮、仁壁神社、龍福寺、古熊神社、瑠璃光寺五重塔、洞春寺、凌雲寺跡、山口大神宮、野田神社、豊栄神社である。

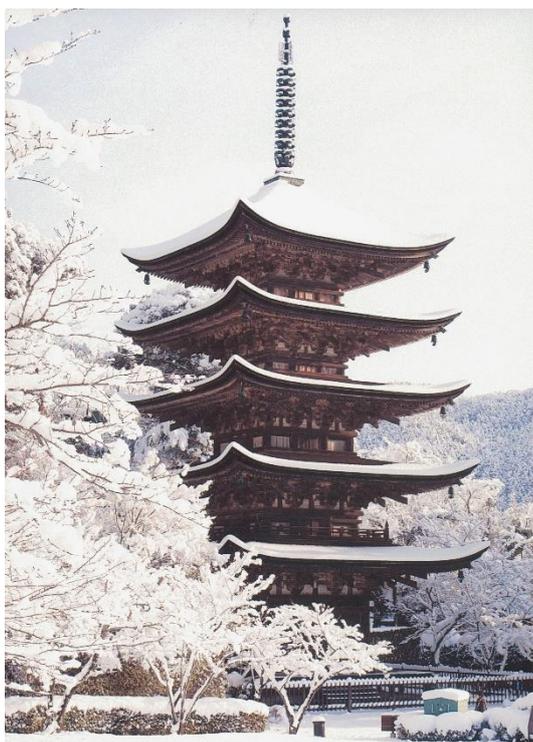
もう一度確認してみたい。



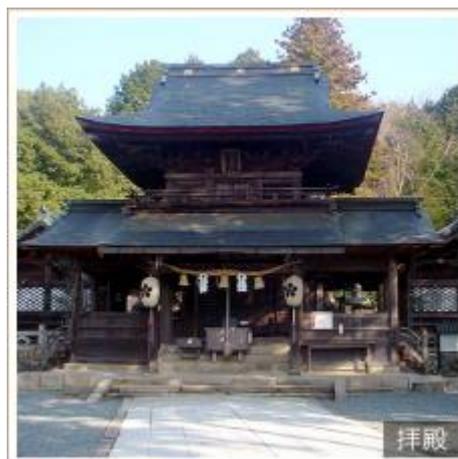
【晩秋の古寺(龍福寺)】



【雪の凌雲寺跡】



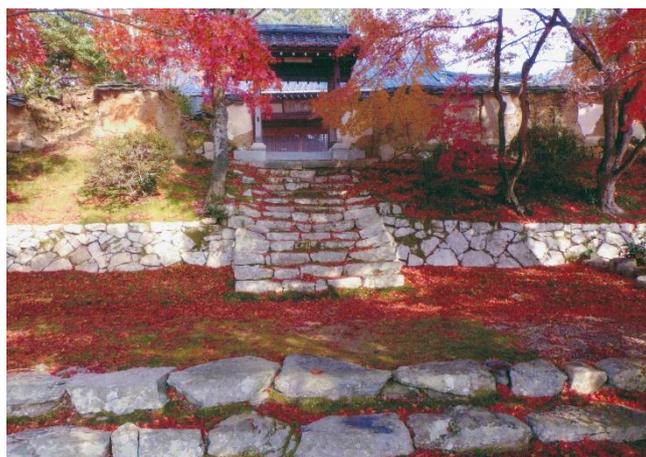
【雪の五重塔】



【古熊神社】



【今八幡宮】



【乗福寺の秋】

以上の写真は、「第一回山口市景観賞～私が好きな山口の景観～」から提供いただきました。



【豊栄神社】

以上の写真は、「山口市観光情報サイト 西の京やまぐち」から提供いただきました。



【洞春寺】

## 平成 30 年度山口本部 夏の講演・交流会に参加して

小谷 典子(会員No.531)

山口大学名誉教授

今年は、集中豪雨に台風に、とにかく天候不順で暑さも際だった夏でした。当初7月に予定されていた「夏の講演・交流会」は雨のため延期になり、8月3日に実現の運びとなりました。

山口七夕会との出会いは、講師の洞春寺の深野宗泉住職が講演の冒頭におっしゃられていたように、私が山口大学を定年退職する際に、ホテルニュータナカで祝賀会を開いていただいたときに遡ります。

たまたま隣の部屋で「山口七夕会」の会合が開かれており、祝賀会に参加されていた八木宗十郎さんが、2つの部屋を行ったりきたりされていたようです。祝賀会が終わりに近づき、学生たちと過ごした調査実習やゼミ旅行、送別の茶会などのスライドが、部屋のライトを落して放映されていたときに、「七夕会に出ておられる渡辺純忠市長が、先生に挨拶したい」と受付に来ておられます。「七夕会?」、その時はどのような団体なのか詳しいこともわからず、市長と暗くなった部屋でしばし談笑しました。暗かったこともあり、祝賀会のほとんどの出席者は、市長が来られたことは知らなかったと思います。

その後、「地域づくり支援センター」の専門職員として山口市役所に勤務するようになり、入江幸江さんが、「地域交流センター」のあり方についておたずねに来られ、「大内倶楽部」で卓話してもらえないかと。「大内倶楽部?」、この時もどのような団体であるかもわからずお引き受けし、「企業の社会貢献とまちづくり」についてお話させていただきました。

その際に、「山口七夕会」へのお誘いを受け、加入した次第です。定期的に「通信」が送られてきて、会費の納入場所が市役所内の企画経営課におかれていることを知り、市役所と関わりがある団体で、東京にも本部があつて、いうなれば、東京の山口県人会の山口市バージョンなのであろうと、勝手に推察している次第です。

山口七夕会は山口高校の同窓会と誤解されがちのことですが、東京に出て行く山口市民には、山口高校の出身者が多いこともあり、また交流会において、今年と同窓会幹事の方々が「山高グッズ」を販売されていましたし、このような誤解が生まれているのであろうと、これまた勝手に推察しているところではあります。

個人的な事情で、会費を払ってきたものの、会の行事になかなか参加できずにいましたが、事情が変化したことと、今回の講演・交流会の講師が洞春寺の住職で、演題が「明治維新 150 年&マル住職の 15 年」であることも大きな誘因となって、思い切って初めて会合に参加させていただきました。

洞春寺については、境内にある社会福祉法人山口育児院の理事を、以前から務めさせていただいており、住職の講演にでてきました、洞春寺で育児院の子どもたちに見守られながら旅立たれた「山縣」さんも、けがで入院中の熟女のかたも、マル住職も、よく存じ上げていました。

深野住職の訥々と話される話し方もあいまって、講演の中味がしみいるように入り込み、夏の夜によい時間を持つことができました。



交流会では、日頃お話のできない異業種の方々と友好を深めることができました。お酒が飲めない、せっかくの美酒のおいしさはわからずじまいでしたが、フラダンスあり、ジャンケン大会あり、交流会はずいぶん盛り上がりました。

ジャンケン大会の景品に「幻のお米？」があり、栽培されている徳佐での農業体験に、山口育児院の子どもたちも招待されているとのことで、思いがけず、七夕会との接点を見つけることができました。

未だに山口七夕会の活動の趣旨を十分に理解しているとは思いませんが、新しい出会いのネット



ワークが、そのネットワークの先に、また新しい出会いを生み出すうえで、七夕会という団体が大きな役割を果たしていることを知る機会になりました。



## =法人会員（年会費1万円）を募集しています！=

～山口七夕会では、財政基盤の確立と組織の拡大のため、法人会員を募集しています！～

山口七夕会では、事業年度内に3回、会員みなさまに「山口七夕会通信」や市報「やまぐち」などの情報をお届けしています。現在、会員数は353名ですが、法人会員みなさまは、**事業年度内に1度、チラシやパンフレットなどを同封してダイレクトメールとしてご活用いただくことができます。**（単純に計算しますと、切手82円×353名＝28,946円のコストが年会費1万円の法人会費に含まれることとなります。）

次の会員への「山口七夕会通信」などの発送を新年1月に予定していますので、既に法人会員に登録されている方は継続をお願いします。また、**新規に法人会員を募集しますので、会員みなさまの関係者やご懇意の法人様の紹介をよろしくお願ひします。**お問い合わせ、申し込みは、以下の事務局をお願いします。

山口七夕会 幹事長 山縣 正彦  
◇山口市七夕会事務局(山口市企画経営課内)担当:小田口  
TEL:083-934-2746

## お花見と下町ウォーク会に参加して

山根 和也 (会員 No.39 )

年ごとに桜の開花日が早まっていく感じがする。ことしの東京は、開花予想日は3月17日、満開の予想が24日頃だった。山口七夕会のお花見ウォーク会で靖国神社の気象庁標本木を訪ねたのは、1週間後の年度末の31日だ。しかし、ソメイヨシノは葉桜になりつつあっても優雅に美しく咲き誇っていた。

さて、恒例行事になっている、郷土の英傑で祭神の大村益次郎公銅像訪問。

その銅像下の植え込みに結ばれた七夕会旗前に9時集合した。早速、参加者全員12名で靖国神社に参拝。さらに、千鳥ヶ淵戦没者墓苑に献花した後、第二鳥居をくぐり二松学舎校前を通り千鳥ヶ淵サクラ・ウォーキングをスタートした。



噂には聞いていたが、桜見物の外国人の多さにびっくり。お堀の見事な桜をカメラにおさめる群衆、遊覧ボートに並ぶ人々をかき分け、千鳥ヶ淵周辺の雑踏を九段下方面に抜けるのに時間がかかった。まるで混雑する原宿竹下通り並みの雑踏ぶり。やっとの思いで靖国通りに出て神田神保町へ向かった。古書や楽器、スポーツ用品などの専門店が多く集まるこの街もリュックサックの外国人旅行者で大賑わい。神田小川町を左折し



本郷通りを御茶ノ水方面へ向かう途中に古色豊かな和菓子屋発見。看板に、創業元禄15年、江戸名物・元祖笹巻毛抜鮓(懇親会でいただいた美味なる味)。

緩やかな坂を上ると駿河台の左手に、にそびえ立つニコライ堂。

1891(明治24)年に建設された本格的ビザンチン様式のキリスト教聖堂。青空に輝く緑青の



美しい屋根と佇まいを身近に観られて感激した。続いて御茶ノ水駅前の神田川に架かるアーチ型の聖橋を渡り湯島聖堂へ。聖橋の名は、ニコライ堂と湯島聖堂の二つ聖堂を結ぶところから名付けられた。

さらに、神田明神の愛称で親しまれている街の鎮守・神田神社に参拝。続き、学問の神様・菅原道真公を祀る湯島天満宮(湯島天神)をお参り。

この辺りからウォーク人の口数が減り、ただ黙々とひたすら歩く。お腹が減ったためか、疲れのせいかわ、一刻も早くのどに潤いが欲しいのか。お天気の良いすぎたのも恨めしい。

不忍池を目の前にしてやっと笑みがこぼれた。ここにも外国人ツーリストの群れが目立つ。もはや、上野のお山に上るエネルギーもない一行は、いま、大河ドラマで話題の[西郷どん]の像を見ることもなく、公園下の懇親会場「鳥光園」に足早に駆け込んでいった。早速、懇親会で無事全員ゴールインできたことに乾杯した。今回初めて参加された大先輩ご夫妻らとお話しできた楽しい思い出と、全員健脚だった! ことをここにご報告いたします。

～いつでもどこでも誰にでも ふるさとはあなたの心の中に～

小野 美穂子(会員 No.311)

愛するふるさと山口市の皆さんに、日本の伝統的な邦楽器が醸し出す新しい音楽をお届けしたい。私の長年の夢がもうすぐ叶います。私、小野美穂子は、山口市に生まれました。山口市で長く箏の指導を続けていた、小野夕波（平成14年に山口県選奨受賞）の孫にあたります。私自身は二十歳で上京、箏の専門家の登竜門である NHK 邦楽技能者育成会に入学、NHK オーディション合格を果たします。その後、北海道に生まれ育った主人の三塚幸彦（尺八）と曾山良一（ギター）が結成した「遠 TONE 音（とおね）」に参加し、1988年から本格的な音楽活動を始めます。

グループ名の「遠音」は、「良い音は遠くまで澄んで聞こえる」という意味をもつ古くからの表現です。一方、TONEは英語の“音”。どちらもトーン・音に通ずる面白さからグループ名を「遠 TONE 音」にしました。人真似ではない、自分たちにしかできない音楽を追及し、行き着いたのが「自分たちが生まれ育った日本、（主人の）生まれ故郷の北海道を音楽で語ること」でした。ふるさと北海道を語ることは

日本を語ることであり、聴く人たちの心のふるさとを思い起こさせることだったので。尺八の音色の魅力と奥深さ。優しく語りかけ、現代のメロディーにも見事に調和する箏の音色。和楽器の可能性（魅力）を最大限に引き出すギター。遠 TONE 音のサウンドで、聴く人の心の中にも北海道の広大な大地を広げたい、そう願っております。邦楽器を使い、伝統音楽という概念を超え、決して西洋音楽の真似事でもない音楽、それが「遠 TONE 音」です。

今年、遠 TONE 音は30周年を迎えます。その記念公演を北海道は札幌を皮切りに、東京と山口でも行います。「遠 TONE 音」の活動の中で生まれた自作曲「北飛行」、「茜雲」は、テレビやラジオ、東京の観光地等でも流されています。今年11月には海外向け CD、遠 TONE 音「故郷」も発売となります。公演当日はメンバー 3 人の30年の想いが詰まった「故郷」からの演奏も予定しています。七夕会会員の皆さん、「遠 TONE 音」30周年記念の東京公演、山口公演に、知人・友人とお誘いあわせのうえ、是非ご来場ください。



<公演のご案内>

★東京・11月22日（木）けやきホール：昼の部14時30分、夜の部18時開演。料金 3,500 円。

★山口・12月 8 日（土）山口県教育会館：14 時開演。料金 2,500 円（学生 2,000 円）。

※お問い合わせ先・遠 TONE 音project（テイク・ワン）：03-3480-6710

## 東京本部 ゴルフ同行会 活動報告

幹事 藤井謙志(会員No.611)

過日の西日本豪雨災害に遭われた皆様には衷心よりお見舞い申し上げます。皆様の一日も早い復興をお祈りしております。

東京本部では会員の皆様からのご要望を踏まえ、会員相互の親睦を深める目的で、八木会長ご承認の下、「ゴルフ同好会」を発足する運びとなっています。

現在、ゴルフ同好会コア・メンバーを中心に、今年の秋(現時点では2018年11月9日金曜日を予定)にゴルフ同好会の記念すべき第1回コンペ開催を目指して準備しております。

これら準備の一環として先日、コースの下見を兼ねて練習ラウンドに行きましてので準備状況と併せてご報告させていただきます。

### 《練習ラウンド》

○日時:2018年7月某日

○場所:武蔵 OGM ゴルフクラブ

○住所:埼玉県比企郡鳩山町大字

小用 1026 番地

○参加者:利重さん、山根さん、大枝さん、  
藤井、計4名

武蔵 OGM ゴルフクラブ(約6,900ヤード、パー72)は、関越練馬インターから車で約1時間と関東のコースでは比較的東京から近場のゴルフコースになります。

クラブハウス、コースコンディション共に素晴らしく、山口県で言うと和木ゴルフ倶楽部に近いイメージでしょうか?下見を兼ねた練習ラウンド当日は晴天と言うよりも炎天下の中ではありますが、利重さんのホスピタリティ、山根さんの楽しいおしゃべり、大枝さんのビッグドライブに度肝を抜かれながらも、とても楽しくラウンドさせて頂く事ができました。

秋のコンペは現在下記の通り計画しております。八木会長を囲んで、大勢の皆様と親睦と健康増進のため楽しい一日をご一緒できればと考えておりますので、奮ってご参加下さいませようよろしくお願い申し上げます。

### 《第1回コンペ(予定)》

○日時:2018年11月9日金曜日

○場所:武蔵 OGM ゴルフクラブ

○住所:埼玉県比企郡鳩山町大字

小用 1026 番地

予約:4組

以上

### 《練習ラウンド写真》



【左より筆者/藤井、利重、大枝、山根】

※お問い合わせ & 申し込みは下記までお願い致します

TEL:090-7251-8946 (担当:藤井謙志)

FAX:03-6885-4840

Mail:fujifam.bananafish@gmail.com